

地域情報化広域セミナーin関東 2023

# 地域と企業に役立つ 「社会福祉型テレワーク」

立科町企画課地域振興係



# 自己紹介



## 上前知洋（立科町企画課地域振興係 係長）

兵庫県西宮市出身。信州大学大学院総合工学系研究科修了（工学修士）。2010年、長野県職員に採用。立科町への職員派遣をはさみ、健康福祉部で検診制度の設計・推進や産業労働部で中小企業のマーケティング支援業務に従事。

2016年に県職員を退職し立科町職員となり、企画部門で地方創生業務に従事。**社会福祉型テレワーク事業**や学生によるアイデアソン「タテシナソン」の企画運営、他に移住促進事業、関係人口の創出事業などを担当している。

(一社)日本テレワーク協会 サードワークプレイス研究部会メンバー(2020~)

観光庁「新たな旅のスタイル促進事業」アドバイザー (2021)

(一財)全国地域情報化推進協会

テレワークによる社会課題解決検討タスクフォースメンバー(2022~)

【講演実績】 総務省、経済産業省、北海道庁、千葉県、長野県、宮崎県、他基礎自治体  
大手旅行会社、ワーケーション自治体協議会、市町村職員中央研修所 等

# 今日の流れ

ちょっと先に取り組んだ自治体職員が  
ちょっと先の場所から見えている景色をお話しします

1

## 立科町の概況と「社会福祉型テレワークの推進」

地理的条件、地域の課題、事業ビジョン、コンソーシアム

2

## 「雇用創出型テレワーク」の取り組み

取組内容、実績、自治体が推進する意義、総務省地域実証事業について

3

## ワーケーションの誘致から地域雇用の創出へ

立科WORKTRIP事業の内容や特徴、地域雇用に結びつく「三方良し」の可能性

4

## よく頂くご質問（資料のみ）

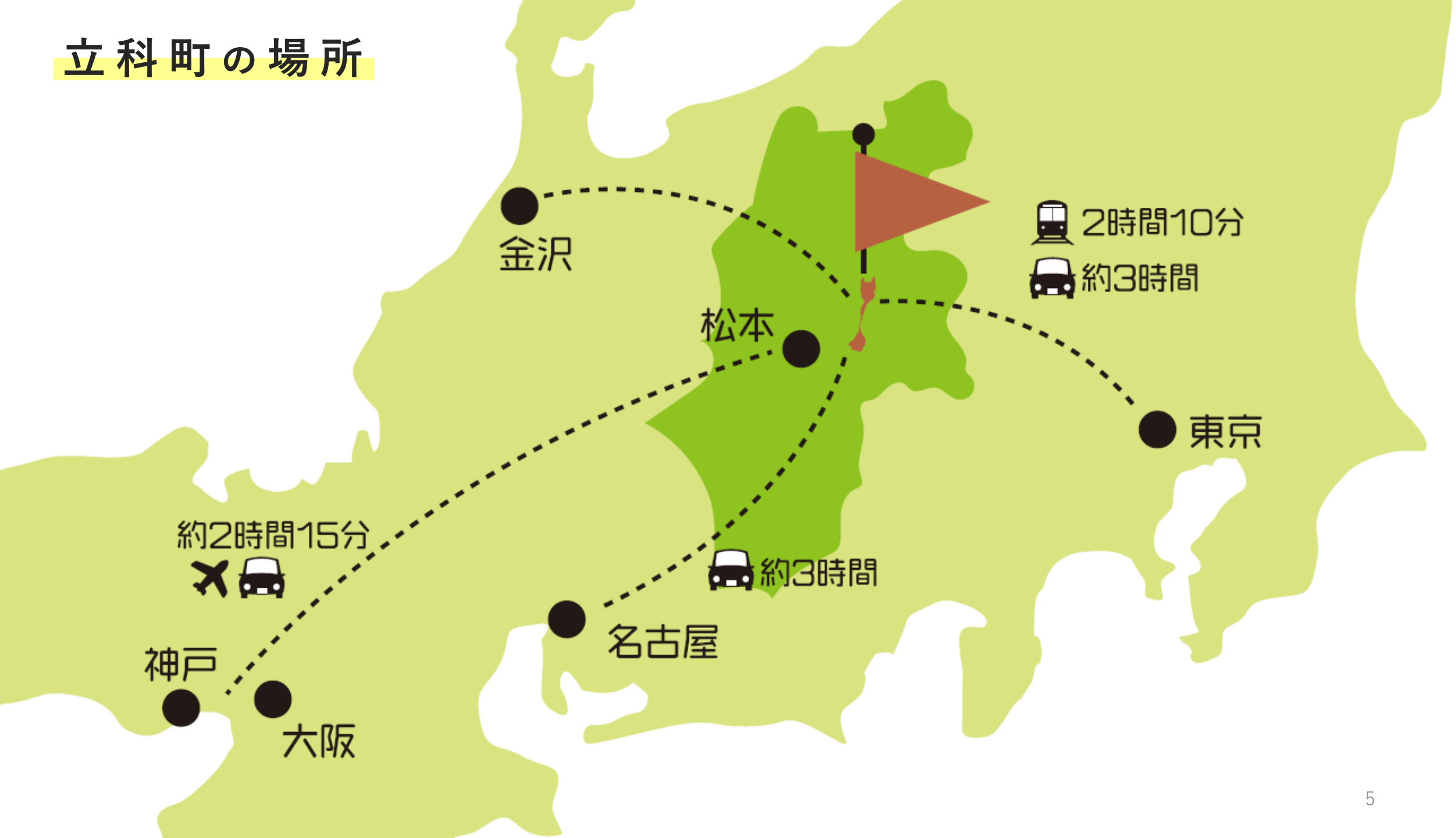
まず何から手を付ければいいのか、合意形成の仕方、予算の獲得方法

1

## 立科町の概況と「社会福祉型テレワークの推進」

地理的条件、地域の課題、事業ビジョン、コンソーシアム

# 立科町の場所



# 立科町の場所

## 里エリア



「立科 ≡ 蓼科」

## 高原エリア



- ☑ 人口6,800人
- ☑ 里エリアと高原エリア
- ☑ 観光と農業
- ☑ 広い通勤範囲

# 立科町の地域課題

## 【地域課題①】

人口減少による  
衰退局面を打破したい

DATA ~立科町人口ビジョン~

2045年の人口 2015年比 **36%減少**

10代後半～20代前半の人口 **30人減少**/年

## 【地域課題②】

U・Iターン希望者が望む  
雇用や職種を当町に作りたい

DATA ~RESAS~

1・2次産業比率が **54%** (全国平均32%、県平均41.0%)

DATA ~H28住民調査~

「テレワークセンターで働いてみたい」 **41%** (町民63世帯)

DATA ~茨城・宮崎県調査 H27~

U・Iターン希望者が希む職種上位 情報・サービス・公務

DATA ~株式会社マイナビ キャリアリサーチLab R4~

地方移住後は「リモートワーク」をしたい **49.4%** (n=235)

テレワークによる  
地方創生の実現を

キャリアを分断せずに働ける職場づくり & 環境づくり

# 事業のビジョン

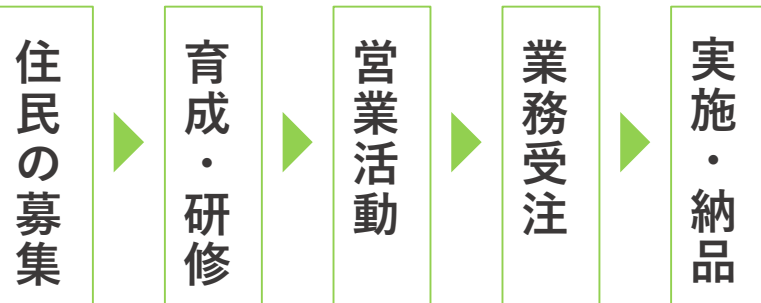
## 社会福祉型テレワーク<sup>※</sup>の推進と発展

※社会福祉型テレワーク：働くことに様々な事情がある多様な住民が、町のあらゆる場所でテレワークを活用して仕事を通じた社会参加を果たす仕組み

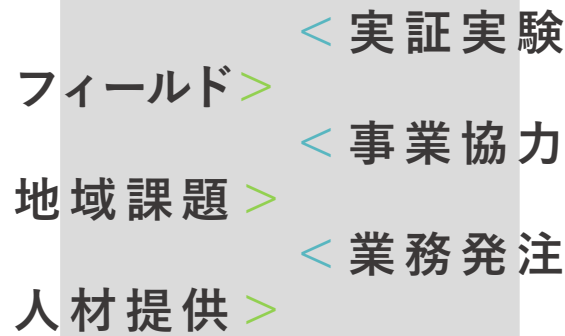
新しい働き方を通じた社会参加と交流が町のあらゆる場所で生まれ、  
地域住民が自分らしく活躍できる就労環境を創出する。



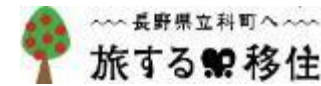
### 住民ワーカーによる BPO案件受託事業



シナジーの発生



関係性の構築



移住の総合支援



貸SOの設置運営



テレワーク移住の  
おためし支援



新しい働き方  
実践者・企業の誘致

### 雇用創出型テレワーク

どんな住民も町内で柔軟に働くことを応援

### 企業進出型テレワーク

都会で働く方々が立科町で働くことを応援



# 立科町テレワーク推進コンソーシアム

■ □ コンソーシアム □ ■

● 協力自治体 ●

● 事業推進 ●

【 推進会議 】

ネットワンシステムズ株式会社

沖電気工業株式会社

株式会社FM.Bee

新経済連盟

立科町商工会

株式会社アシストビジョン

合同会社オールスプラウツ

立科町社会福祉協議会

株式会社沖ワークウェル（特例子会社）

塩尻市振興公社

長野県

**立科町**

● ワーカー研修 ●

株式会社フィールドデザイン

株式会社TOSYS

● 障がい者雇用推進 ●

## 2

### 「雇用創出型テレワーク」の取組み

取組内容、実績、自治体が推進する意義、総務省地域実証事業について

# 雇用創出型テレワークの主な取組内容

2017 ————— 2018 ————— 2019 ————— 2020 ————— 2021 ————— 2022 ————— 2023

財源

● (地方創生推進交付金：第1期) ● (地方創生推進交付金：第2期) ● (デジ田交付金：広域連携)  
 (総務省：ふるテレ推進事業)

主な取組内容



数名のメンバーで  
模擬業務開始

テレワーク推進会議  
設立・ビジョン策定



スキル研修を開始  
塩尻市振興公社から  
業務受注開始

コンソーシアム  
設立



テレワークセンター稼働  
業務受注が本格稼働  
サテライトオフィス設置  
→(株)アシストビジョン  
(蓼科高校卒業生採用)



営業チーム発足  
・新規顧客の開拓  
・主催セミナー開催  
・広報ツール作成  
Webサイト運用開始



阿部 長野県知事視察  
スタイルブック創刊  
ディレクター増員



広域連携会議開始  
(塩尻市、大町市、  
安曇野市、立科町、  
新潟県糸魚川市)  
総務省信越総合通信局  
局長表彰受賞



総務省「テレワークを活用した地域課題解決事例の創出に関する実証事業」採択 (塩尻市、糸魚川市、立科町)



ママのための  
新しい働き方セミナー



地方が生き残るための  
テレワークセミナー



人口7,000人の町が  
本気で取組む働き方改革



子育ても仕事も両立する

# ママのための 新しい働き方 8.1 TUE 入場無料



託児があるので  
安心です。 美味しい  
コーヒーと  
お菓子も。



🕒 10:00~11:30

📍 ふるさと交流館「芦田宿」

立科町大字芦田 2602-1



二小からのキャリア。生き方をどうするか、マインドセットできた。

実際に仕事に2回バリエーションあり、子育てのペースと仕事のペースを調整できた。

新しい環境を作りたいと思っていた中で「楽しい時間」にたどり着いた。

今後、立科町でもテレワークが出来るとなるかもという期待が持てるから。

## 1 働くママさんから話を聞いてみよう。

ネットワーカーズ株式会社  
にT型株式会社ワークスタイルの営業チーム

**手塚 千佳氏**  
社内ダイバーシティ推進委員会ワーキンググループとして、  
あらゆる仕事と2児の子育てを両立経験をしながら、ダイバー  
シティの両立に悩む女性社員の課題解決にあたり、現在は各々が  
実践している。仕事と育児の両立を両立する働き方改革に取り組  
んでいる。これまでに複数の自治体や団体の行政委員での「女  
性活躍推進もワークスタイル実証」をテーマとした講演多数実施。



立科のママに  
伝えたい！  
テレワーク😊

一般財団法人 立科町教育公社  
テレワーク推進委員

**柳澤 佳子氏**  
専業主婦、出産を機に退職し、子どもの成長にあわせて、子育  
てと両立できる仕事を選択し、子育て中の女性が活躍できる  
ための NPO 法人を設立。その後、国内各地で支援事業に関わ  
ることで活動に立ち、現在は子育てや介護等で働きたくても働け  
ない人の就業支援について取り組むとともに、テレワーク推進委  
員のマネジメントを務めている。



塩尻のママは  
こうやって  
働いています😊

## 2 ママさん同士で話してみよう。

ゲストのお二人を交え、ママさんたちと、子育ても仕  
事も両立できるようになるためのあれこれを話し合っ  
てみましょう。同じ世代のママさんたちの働き方や育  
児についてもいろんなヒントが見つかるかも！



## お申し込み

電話または右記 QR コードよりお申し込みください。  
申し込み締め切り7月24日(月) 応募者多数の場合、抽選となります。

ふるさと交流館「芦田宿」 ☎ 0267-78-5645



主催：立科町テレワーク推進会議 後援：立科町高工会

# 雇用創出型テレワークの取組内容

## ① 住民ワーカーの募集・育成



- ・説明会の随時開催
- ・スキルアップ研修の実施

## ② 就労環境の整備



- ・テレワークセンターの設置
- ・備品、業務システムの提供

## ③ 業務受注に向けた営業活動



- ・住民ワーカーによる営業チームを発足
- ・新規顧客開拓
- ・広報活動の展開

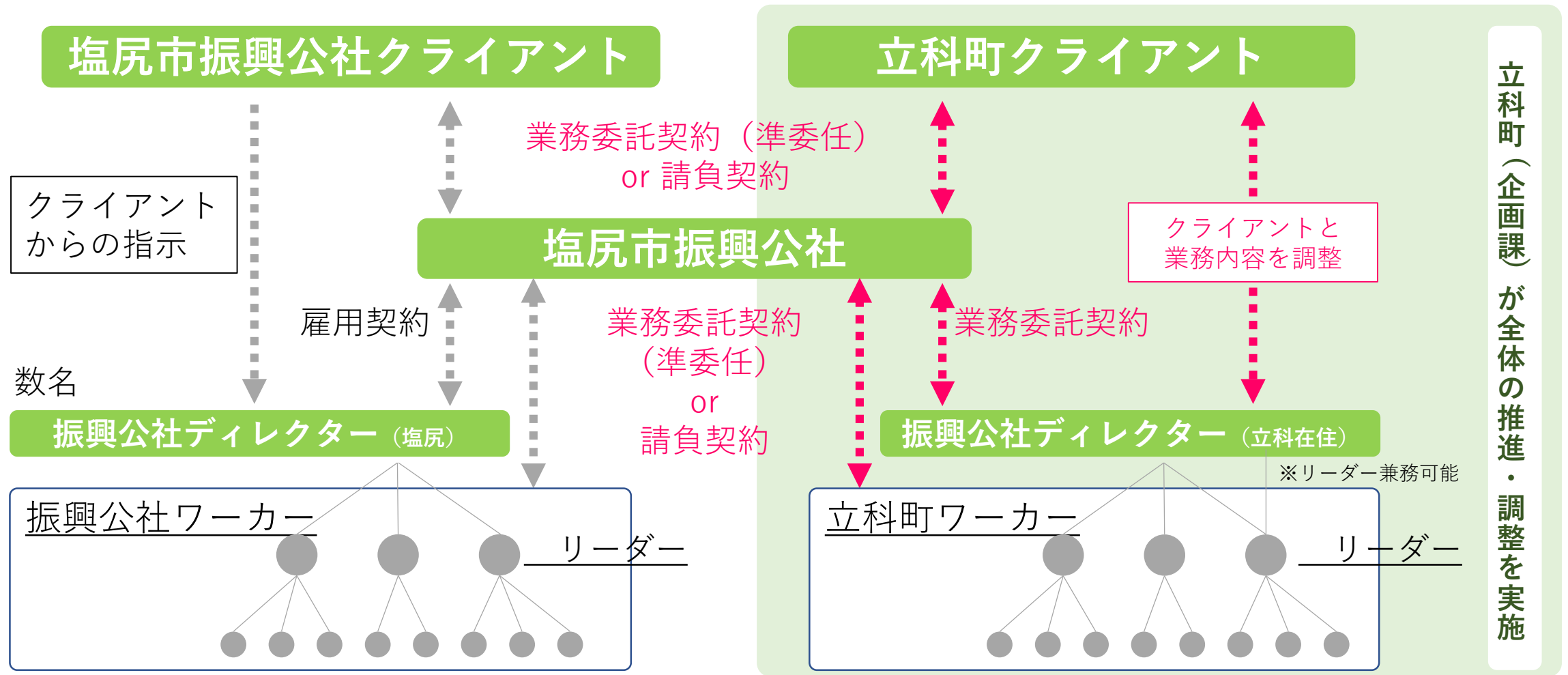
## ④ 受注業務の実施と管理



- ・業務契約・支払業務等の事務
- ・業務担当チームの構築
- ・業務の進捗管理、品質管理

人材育成から営業、契約、納品まで一貫して実施

# 塩尻市振興公社との自治体間連携スキーム



立科町（企画課）が全体の推進・調整を実施

※立科町のクライアントは、塩尻市振興公社と業務委託契約及び秘密保持契約等を締結（立科町に法人格がないため）

※立科町のワーカーは、塩尻市振興公社のワーカーマネジメントシステムに登録し、秘密保持契約を締結したうえで業務実施

※ワーカーは全員【個人事業主】となり、報酬は塩尻市振興公社から支払われる

# 住民ワーカーのデータ (2023年6月時点)

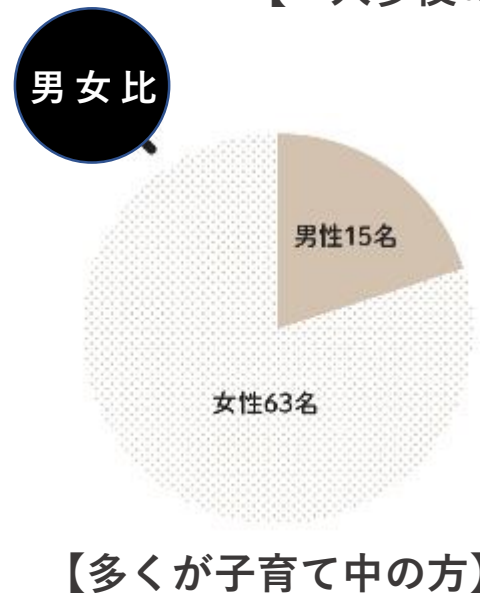
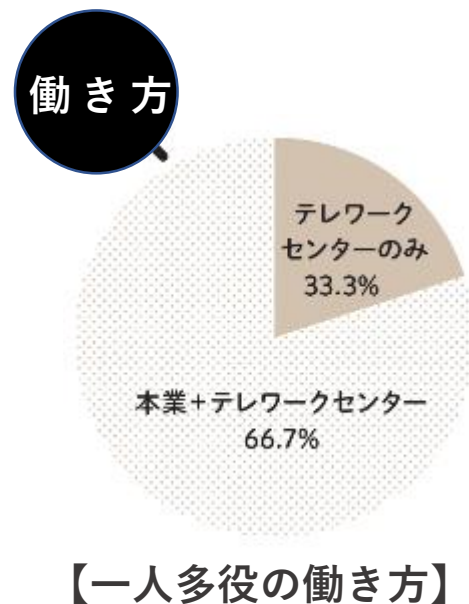
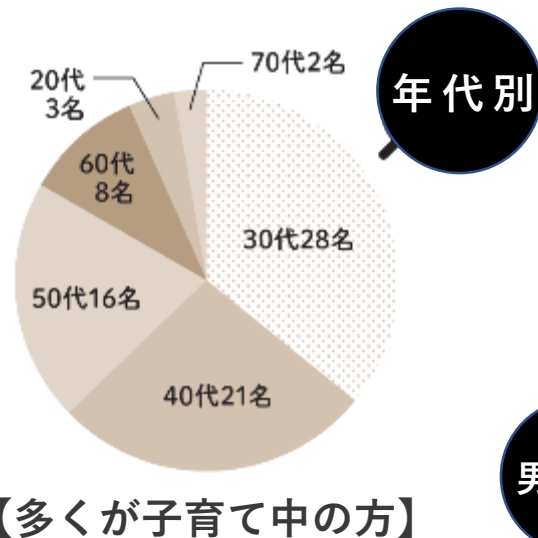
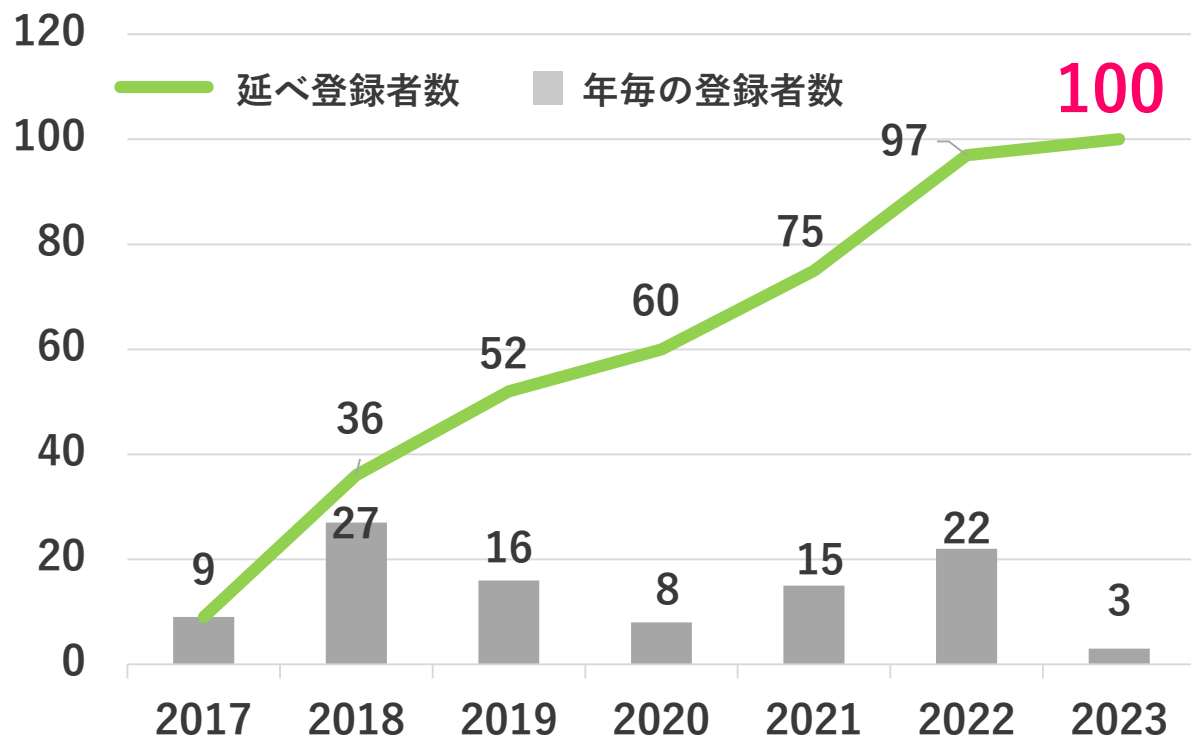
## 登録数の推移

登録数 **100名** (延べ)

稼働中のワーカー **79名** (女性64名、男性15名)

○30代・40代の女性が8割

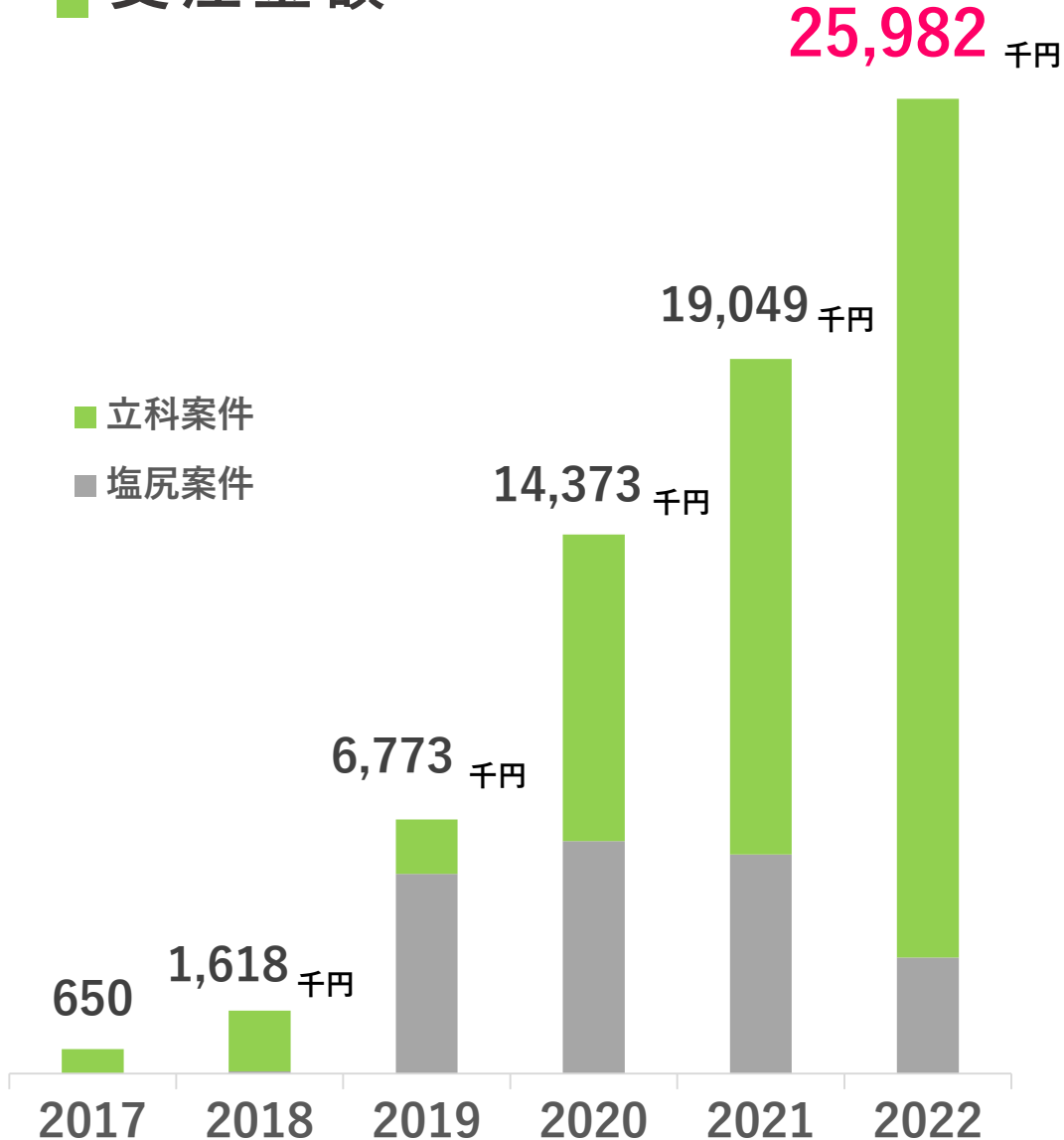
町人口の  
**1%超**が登録



女性活躍や生涯活躍推進の一躍を担う施策に

# 受注金額と受注業務の内容

## 受注金額



## 受注業務の内容

主な受注先	<p>県内外事業者：上場企業を含む全国の企業</p> <p>町内事業者：建設業、農家、個人事業主 等</p> <p>自治体等：立科町、社会福祉協議会、塩尻市振興公社</p>
主な業務内容 (一例)	<p>バックオフィス支援：社内経理業務（支払、請求）、 購買業務、福利厚生施設管理業務 等</p> <p>E Cサイト情報更新：掲載商品のデータ更新・管理</p> <p>アノテーション業務：AIの教師データ入力</p> <p>営業支援：営業資料作成・発送、電話営業、 公募・入札情報検索登録業務 等</p> <p>クリエイティブ業務：ウェブページ作成、誌面デザイン</p> <p>記事ライティング：記事執筆、取材、写真撮影</p> <p>議事録の作成：音声データから文章起こし</p> <p>データ入力：名刺・会員名簿・顧客リスト作成</p> <p>DM発送業務：発送先リスト作成、DM封入 等</p> <p>郵便物の作成と発送：宛名作成、発送物の印刷、封入 等</p>



# 自治体が自営型テレワーカー育成・活用事業を推進する意義

- 地理的制約がない働き方を提供できる
  - 「企業誘致」から「仕事誘致」へ
  - 民間事業者が提供するクラウドソーシングサービスはハードルが高い
- ITフレンドリーな人材の育成が地域全体のデジタルリテラシーの向上に寄与する
  - 民間事業者（地域の中小事業者）に代わってリスクリング機会を提供
- 誰もが活躍できるコミュニティの創出
  - 移住してきた若い世代、孤立しがちなシングルマザーなど

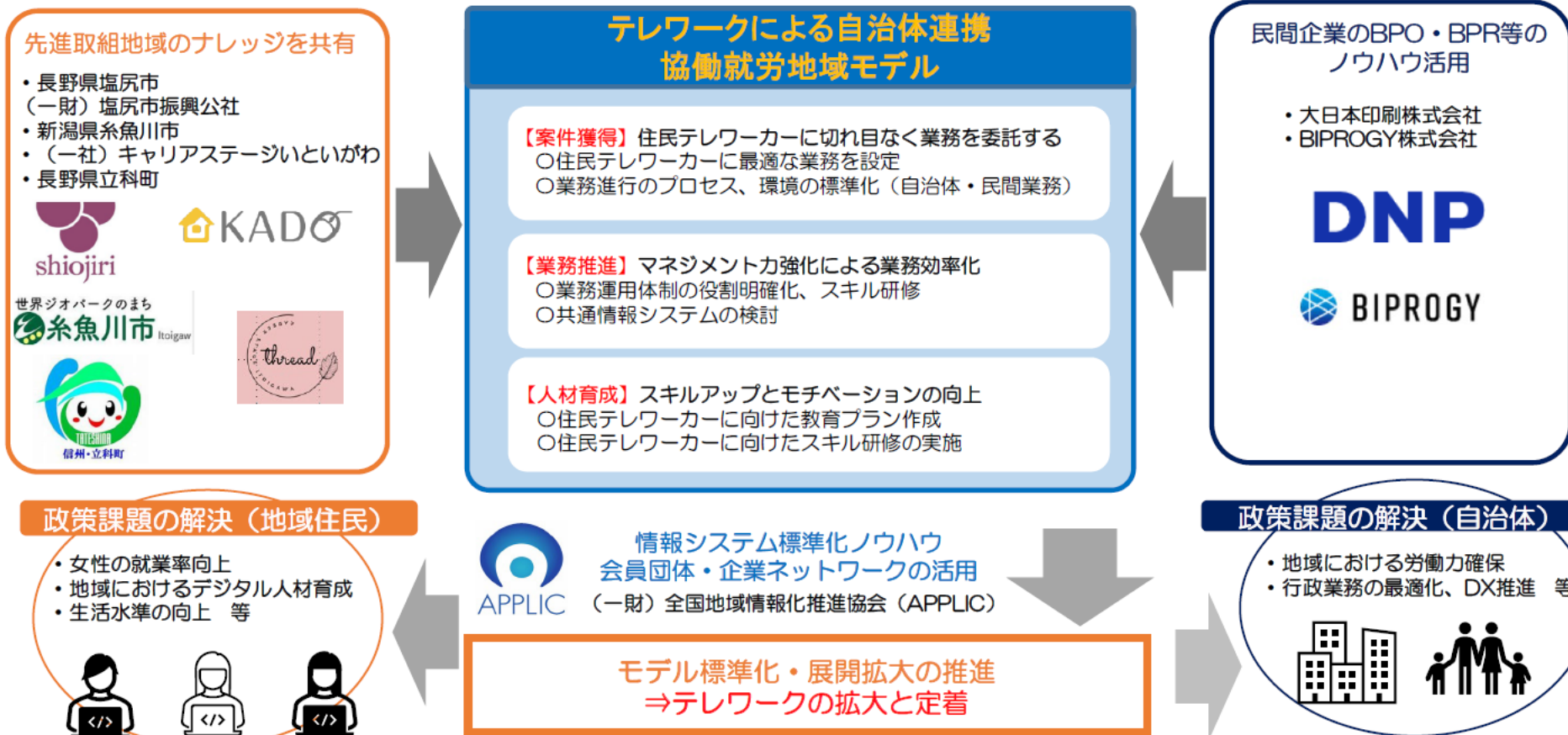
## 気を付けるべきポイント

公共性の高い事業であることへの理解（課題・目標・成果指標の設定）

「雇用を作る」ことで発生する責任

地域実証事業件名：テレワークによる自治体連携協働就労地域モデル構築の実証

実証コンソーシアムの構成	大日本印刷株式会社、一般財団法人地域情報化推進協会（APPLIC）、長野県塩尻市、長野県立科町、新潟県糸魚川市、一般財団法人塩尻市振興公社、一般社団法人キャリアステージといがわ、BIPROGY株式会社
実証地域	長野県塩尻市、立科町 新潟県糸魚川市
実証事業概要	地域住民には、働きたい方が個人の生活条件に合わせた働き方ができる社会の実現（就労のセーフティーネット）を、自治体には、デジタル人材育成、労働力確保による地域経済活性化を実現する共助の仕組み作りを検討する。 （１）住民テレワーカーが従事する業務案件の獲得及び円滑な実施（情報セキュリティや個人情報保護を担保したICT環境等の検討） （２）業務推進・マネジメント機能について （３）人材育成について



3

## ワーケーションの誘致から地域雇用の創出へ

立科WORKTRIP事業の内容や特徴、地域雇用に結びつく「三方良し」の可能性

# 事業のビジョン

## 社会福祉型テレワークの推進と発展

新しい働き方を通じた社会参加と交流が町のあらゆる場所で生まれ、  
地域住民が自分らしく活躍できる就労環境を創出する。



住民ワーカーによる  
BPO案件受託事業

住民の募集

育成・研修

営業活動

業務受注

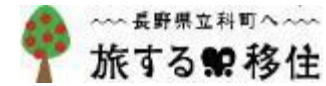
実施・納品

シナジーの発生

フィールド >  
地域課題 >  
人材提供 >

< 実証実験  
< 事業協力  
< 業務発注

関係性の構築



移住の総合支援



貸SOの設置運営



テレワーク移住の  
おためし支援

立科  
WORK TRIP

新しい働き方  
実践者・企業の誘致

雇用創出型テレワーク

どんな住民も町内で柔軟に働くことを応援

企業進出型テレワーク

都会で働く方々が立科町で働くことを応援

次はこちらの話

# 立科WORK TRIP



信州を代表するレイクリゾートの  
ホテル・ペンションに  
会社の仲間やプロジェクトメンバーと滞在して  
費用と手間を抑えて確実に成果が出せる支援を実施

★こんな活用ができます★

開発合宿   オフサイトMTG   チームビルディング   アイデアソン   合宿型ワーケーション



# ワーケーションの分類

## ワーケーション

### 休暇型

#### 福利厚生型

有給休暇を活用してリゾートや観光地等でテレワークを行う



#### 地域課題解決型

地域関係者との交流を通じて、地域課題の解決策を共に考える



### 業務型

#### 合宿型

場所を変え、職場のメンバーと議論を交わす



#### サテライトオフィス型

サテライトオフィスやシェアオフィスでの勤務



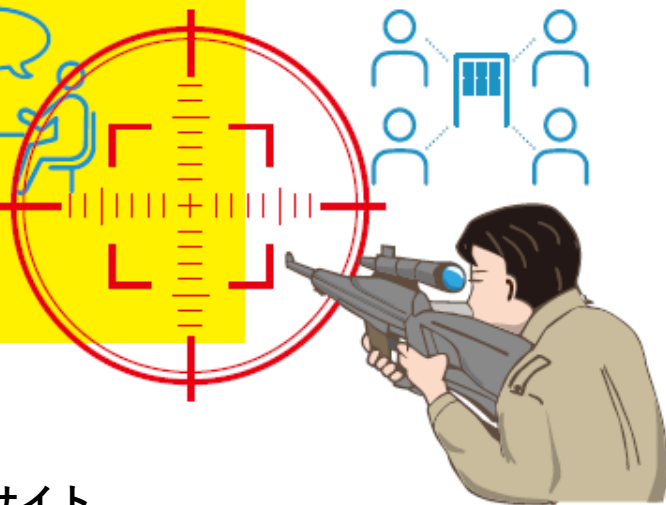
## ブレジャー

### 業務型

出張先等で滞在を延長するなどして余暇を楽しむ



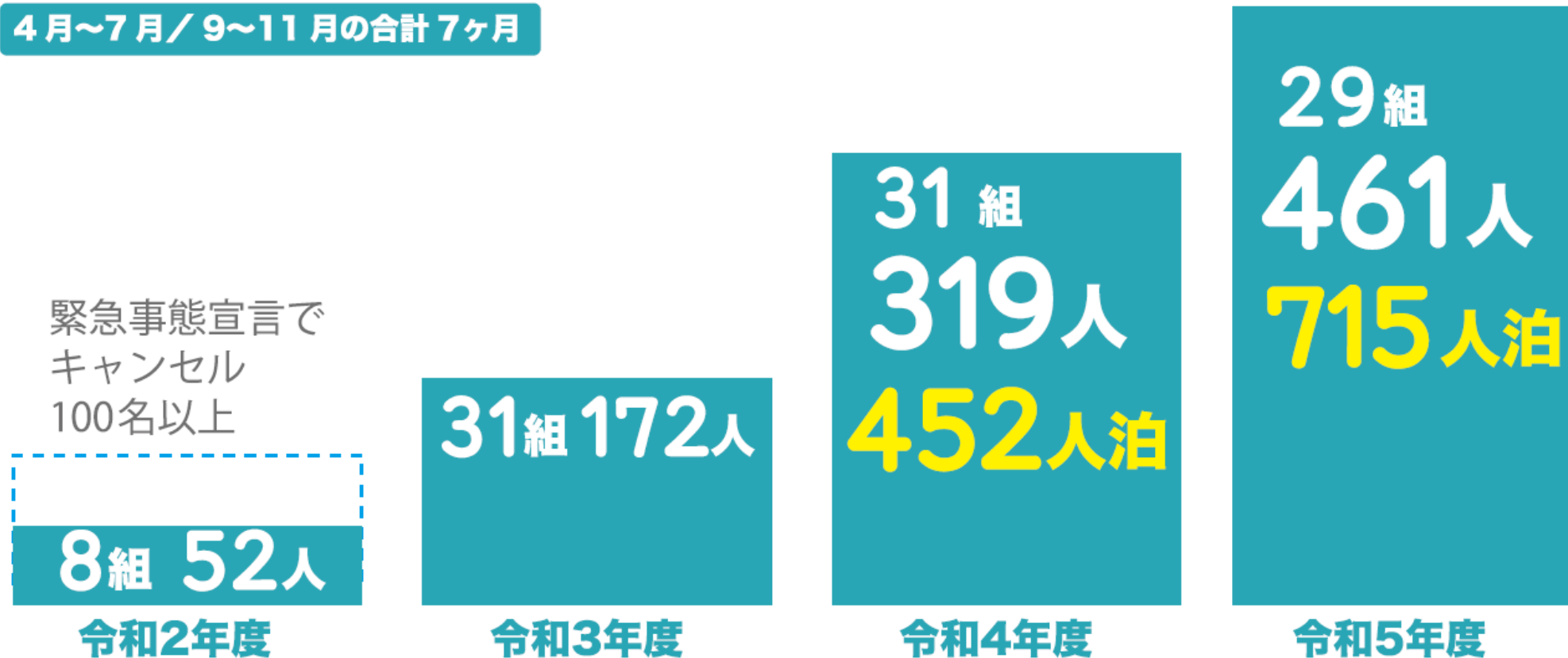
**LOCK ON**



# 立科WORK TRIPの受入実績

個人のワーケーションや家族連れワーケーション(パッケージ的なもの)をのぞく

4月~7月/9~11月の合計7ヶ月



緊急事態宣言で  
キャンセル  
100名以上

## 企業合宿型ワーケーション受入実績

# 全国1位

(ワーケーション自治体協議会(213団体)調査【2022.9】)

①受入施設に**一定品質**を担保

②バケーションまで**徒歩0秒**

③**目的に応じた宿・プラン**を  
コンシェルジュが手配

(観光協会の職員)



# 企業側の 辛いところ

プランを提案  
してほしい

決済取れる  
企画書作成  
してほしい

できるだけ  
業務に集中  
したい

個別の作業も  
こなしたい

食事を短時間で  
済ませたい

旅費規定で  
収まる宿泊費で  
見繕って欲しい

~~遊びたい~~  
プライベート  
空間・時間も  
確保したい

最小限の  
やりとりで

急に必要性が  
生じた

逆に半年以上前から  
綿密に詰めていく  
パターンも

全ての請求を  
まとめて欲しい



# 企業におけるワーケーションの効果



普段よりも2、3週間分進んだ気がするという言葉が出たのは直接会わないとできないコミュニケーションがあるということ再認識できたから。

クリエイションライン株式会社様



心と頭がほぐれた状態で仕事に向き合って新しいアイデアを創出することができるからとてもいい。

株式会社シソーラス様

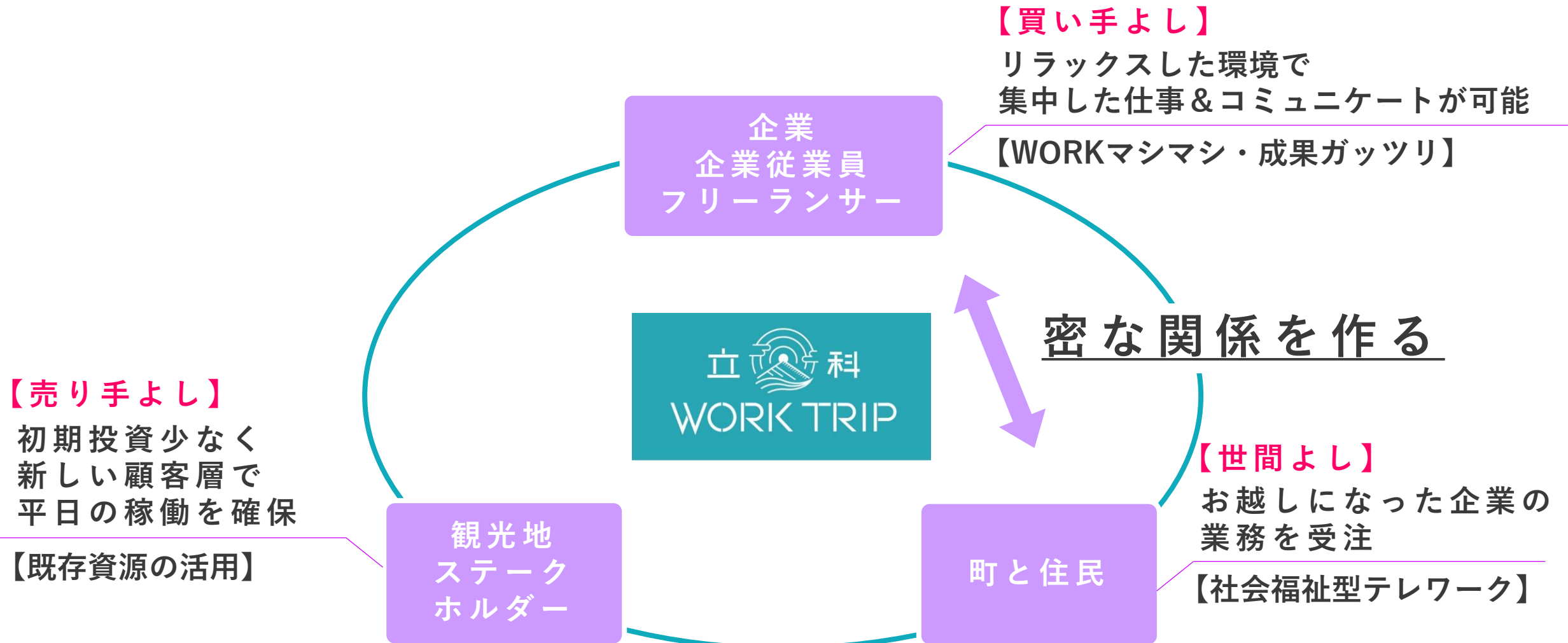


リモートだとやりにくいコミュニケーションが取れたというのがすごくよかった。チームで合宿みたいな感じでこういう所に仕事に来るのはいいんじゃないか。

株式会社コンセント様

企業様が【立科 WORK TRIP】を利用することの**効果を実感!**

# 【三方よし】の立科WORK TRIP



【三方よし】が実現できる

# 株式会社ミライト・ワン・システムズ様との事例

## 経緯

- ・ ミライト・ワン・システムズの役員のみなさまが当地を視察
- ・ 社員のオフサイト施設として、当地ホテルと法人契約
- ・ オフサイトMTGで当町滞在多数、当町取組についてご理解いただく
- ・ 立科町の住民ワーカーへ業務発注開始

### 【買い手よし】

### 【売り手よし】

### 【世間よし】



株式会社ミライト・ワン・システムズ



当地ホテル



立科町テレワークセンター

- オフサイト施設の確保
- ノンコア業務の外注化

- 法人契約獲得
- 平日の稼働増加

- 新規業務の受注

企業進出型テレワークを入口とした地域雇用創出の好事例

4

## よく頂くご質問（資料のみ）

まず何から手を付ければいいのか、合意形成の仕方、予算の獲得方法



## 何から手を付けたらいいですか？

### ● 以下のフローがご参考になれば

地域の現状把握（アンケートの実施・RESAS）



勉強会、視察、情報収集（先進事例、国の動向、社会の変化）



テスト実施（小さく、予算かけず）



知見の積み上げと見える化（資料化）



ビジョンの策定（※ビジョンがあると協力を仰げる）



予算確保



本格的な推進（体制づくり）



## 何から手を付けたらいいですか？

### ● 立科町のテレワーク事業（雇用創出型）の場合

H27 「テレワークセンターの設置」 総合戦略に記載



H28 塩尻市振興公社を視察

テレワーク調査（住民、企業、大学）→ 町課題に対する有効性を確認

→ H29 テレワーク推進会議設置のための予算計上



H29 テレワーク推進会議設置

→ ビジョンが完成し、地方創生推進交付金を申請（年度途中採択：12月補正）

ワーカー候補者を集めるセミナー開催

→ 10数名のワーカーをコアメンバーとしてつなぎ止めるMTGを月1で実施

→ 使っていない会議室に長机とパイプ椅子を持ち込んでPC仕事を開始



H30 本格的な推進（研修の開始、企業から仕事をもらえる体制構築）



## 関係者の合意の取り方はどうするの？

- 地域の課題と解決方針を共有すること
  - 当事者であることを認識
  - 一緒に取組む仲間であることを認識
- 主役になってもらうこと
  - マスコミ取材を受けてもらう
  - 広報物に登場してもらう
- 小さくても利益を生むこと
  - 足元の収益が、施策の納得感を生む
  - 懐疑的な姿勢から協力的な姿勢に変わる
    - (住民ワーカーへの業務発注、ペンションへの送客)





予算の獲得方法を教えてください！

- 外部からの財源（交付金・補助金）を確保すること

- ・ ビジョン（なりたい姿）がある

- 納得感がある簡潔な言葉で説明

- ビジョン実現までの工程が説明

- ・ 施策の連続性がある

- これまでに活用した補助金や交付金を記載

- 何ができて、何ができなかったのかを整理

- 予算がなくてもできることからやる

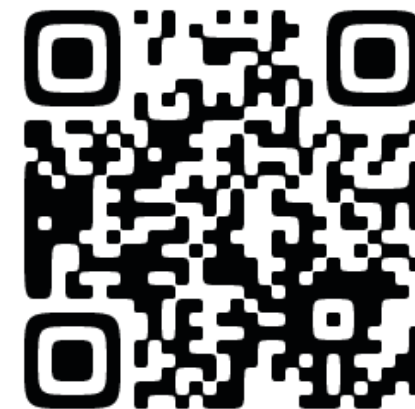
- 小さな実績を作ってから予算獲得に動く

# 立科町社会福祉型テレワークに関する資料について

## 立科町テレワーク推進会議（会議資料、議事録）

<https://www.town.tateshina.nagano.jp/0000001177.html>

平成29年度(2017年)からの会議資料と議事録を掲載



## 雇用創出型テレワーク

### 立科テレワークセンター

<https://tateshina-telework.jp/>



## 企業進出型テレワーク

### 立科 WORK TRIP

<https://work-trip.com/>



# どこにいても 誰もが働ける時代を立科町から

田舎だから仕事がない。都会にいないと仕事ができない。

そんな常識はもう終わりにしてどこにいてもだれもが働ける時代へ。

立科町はテレワークという方法で地方の新しい働き方に挑戦しています。

